

朝食抜く中高生増加

朝食を食べない中高生の割合が6%から8.7%に増えていることが、厚生労働省のまとめでわかった。国民の健康づくり計画「健康日本21」に掲げる70項目のうち、約20項目で計画をつくった時より悪化していた。(3日)

インフルエンザ薬「タミフル」国内生産へ

世界的に需要が急増している抗インフルエンザ薬「タミフル」が日本でも生産される見通しとなった。現在は、独占製造するスイスの製薬大手ロシュから子会社の中外製薬が輸入して国内で販売しているが、中外が国内生産する方針を固めた。生産開始は早ければ2年後になる。(10日)

学習指導要領「ゆとり」から「言葉の力」へ

06年度中に全面改訂される次期学習指導要領の柱に、「言葉の力」と「体験」をすえることがわかった。「言葉の力」は確かな学力をつけるための基盤という位置づけ。(13日)

スーパー宇宙線、日米共同観測へ

宇宙から地球に降り注ぐ宇宙線の中に、けた違いにエネルギーが高い「スーパー宇宙線」があるとの説をめぐり、米国ユタ州の荒野で壮大な観測を始めることになった。日本チームの主張通り「スーパー宇宙線がある」となれば、アインシュタインの打ち立てた相対性理論にほころびが見つかる可能性もある。(15日)

大阪大が物理の天才を歓迎

大阪大は、高校生らの物理コンテスト「国際物理オリンピック(物理五輪)」の日本代表(5人)に選ばれた生徒を、08年度から無試験で合格させる制度をつくることを決めた。理学部物理学科の募集枠に「国際物理オリンピック入試」を新設し、筆記・面接試験をすべて免除する。初年度の出願は07年11月で、12月に合格発表の予定。(15日)

残虐ゲームに「18禁」表示

過激な暴力表現のある「残虐ゲーム」について、家庭用テレビゲームの業界団体「コンピュータエンターテインメント協会」(CESA)は、「18歳以上のみ対象」の表示を導入し、販売店に対し、青少年への販売を禁止するよう要請することを明らかにした。店頭に並んでいるゲームも5月末までに年齢区分シールを張り直す。(17日)

GDP、年率5.5%増

内閣府が発表した05年10～12月期の国内総生産(GDP)速報によると、物価変動の影響を除いた実質GDP(季節調整値)は、前期比1.4%増(年率換算で5.5%増)と高い伸び率となった。プラス成長は4四半期連続。家電や、冬物衣料、暖房器具の売れ行きが良く、個人消費が伸びた上に、輸出も米国、中国向けが好調だった。(17日)

国産ロケット打ち上げ次々成功

国産大型ロケット「H2A」の9号機が、鹿児島県の宇宙航空研究開発機構・種子島宇宙センターから打ち上げられ、気象観測などを担う衛星「ひまわり6号」と対になる運輸多目的衛星(MTSAT)2号機の分離に成功した。H2Aは1月24日に8号機を打ち上げたばかり(18日)。日本初の赤外線天文衛星「アストロF」を載せた国産ロケット「M(ミュー)5」の8号機が、同機構・内之浦宇宙空間観測所から打ち上げられ、衛星を分離。衛星は「あかり」と命名された。(22日)